

### 第3回日本予防理学療法学会サテライト集会

#### 開催趣意

第3回日本予防理学療法学会サテライト集会のテーマは「地域の実情に応じた多様な主体との協働による実践活動事例」といたします。

本年度から全国市町村において「介護予防・日常生活支援総合事業」が一斉にスタートしました。介護予防の機能強化のため、リハビリテーション専門職の関与が明記された「地域リハビリテーション活動支援事業」が開始されることとなります。

従前の理学療法は、一般的に病院・施設内での診療補助業務を患者と一対一で実施するのがふつうでした。総合事業で想定されるリハビリテーション専門職の役どころは、住み慣れた地域で、その住民と多様な利害関係者とが協働し、リハビリテーションを根付かせるところにあるといえるでしょう。すなわち、半世紀の理学療法の経験知を携え、予防の見地からの地域住民の安寧に資する活動が求められているといえます。

そこで本サテライト集会においては、地域包括ケアシステム実現のため病院・施設そして地域での実践活動事例について論じ合える場を提供したいと考えております。本集会で学ばれたティップスを地域に様々な形において還元できたとすれば、それが本集会の存在理由になるものと考えております。

第3回日本予防理学療法学会サテライト集会  
集会長 柴 喜崇